

日本名所集

二

65  
2  
226

皇清名臣奏草

東泉圖書齋

二冊

二二六號

八架

六五函

屬

類

明治十九年六月十七日內務省贈付

日本各所藥草下卷目錄

○北陸道

若狹若狹州越前越前州加賀加賀州能登能登州

越中越中州越後越後州佐渡佐渡州

○山陰道

丹波丹波州丹後丹後州但馬但馬州因幡因幡州

出雲出雲州石見石見州隱岐隱岐州

○山陽道

播磨播磨州美作美作州備前備前州備中備中州

備後備州安藝藝州周防防州長門長州

○南海道

紀伊紀州淡路淡州阿波阿州讚岐讚州

伊豫豫州土佐土州

○西海道

筑前筑州筑後筑州豊前豊州豊後豊州

肥前肥州肥後肥州日向日州大隅隅州

薩摩薩州

○二島 壹岐壹州對馬對州

日本名所葉草下

北陸道 七箇國

北陸道は海北の陸地なりとて吾妻のありむるは名あり

○若狭國 三郡

海邊くして奥嶺まゝ一帯をのりて

貢とて昔は國より支那ありたふ長生乃

人其年教を志しは嘗て奥若くして少年

のこゝ後神とある今一宮社とてなり

若小よりて若狭の名あり

遠敷大飯 三方 中後小上國南小二月

小濱

若狹 一之宮 遠敷大明神

名産

若狹鯛 尾崎鱈 王好魚 八島織 耳埴貝  
青堅海苔 若和布 黒基若 厚帛 畷田  
煮だれ芋 白木 芍薬 蓮肉 厚朴 香附子  
石薺 辛夷 石灰 笏老 板木 徳川椿木

七十一

名所

徳川葛 鋤耜柄 指履 小濱酒 揚枝木  
小濱筆 洲崎目刺魚  
後瀬山 青羽山 三取海 三方原  
粟立山 雲溪 小濱

神社

遠敷

○遠敷社 遠敷郡有リ 祭神

彦火々出見尊上社 豊玉姫下社

一宮記 ○社記云人皇四十五代元正天

皇御宇灵龜元年乙卯九月十日當國遠敷郡西郷内靈河之源ニテ白石上始垂跡ニテ名神ニテ帳ニテ按豐玉姬ハ海神ノ女ニテ火々出見尊ノ妻也日本記二見エタリ

○彦火々出見尊因娶海神女豐玉姬仍留住海宮已經三年彼處雖復安樂猶有憶郷之情已下畧之日本紀

○神詠 啓人の聲とて海ぞをほく年  
 神此神とて神乃神たり

○越前國十二郡

山岳南よりて小海流あま葦素麻あま多し

今立 足羽 大野 坂井 敷賀 丹生  
 黒田 池上 神田 吉田 坂小 南條

大後大上々國南小三日本

福井	九箇	大埜
勝山	敷賀	鯖江

越前

一之宮

氣比大明神

名産

漆布	刺織布	苧屑頭巾	蒲脚付	蓑
肱綿	切石	砥石	浮水	綱代骨柳
金津襪子	塗笠	中為根糖	日輪	縹
敷賀小巻	匹田絹	二函縞	月輪	縹
蒸粉	大蜡	老海菜	丸固索	黄蘗
船				

名所

丹生山	帰山	五幡	越中山
有乳山	角麻山	苜飯海	浅水橋
玉	子姥浦	色の溪	行の泊
類の池	矢田登		

神社

氣比 足羽

○氣比社 或筭飯 敷賀郡ニ有リ 祭神

仲哀天皇也 一宮記 ○氣比神宮者宇佐

同体也。八幡者應神天皇之垂跡。氣比明

神者仲哀天皇之鎮座也 風土記

○御位 貞觀元年正月廿七日從一位

神階記 啓

○神託 益人よ一念のれらぬるふあやと

成もくび常ふたぢく免ばさるるか小遠

くまのひく天のふく徳叶ひ象神明也

はのふたさるる之思ふ幸なる也 和湯治

○足羽社 足羽郡ニ有リ 祭神一座

繼休天皇也 應神天皇五世ノ孫ナリ

○加賀國四郡

風土記云て此鹽酒等々之く清る五穀

循後弘仁十年三月日越前三郡を割て加賀を以

加賀 江沼 能登 石川 河川

上卷中上國東西二日半

金澤

大聖寺

加賀

一之宮

白山比咩神





名産

鳥賊黑漬

鯖柳鱒中え小用

日背勝

鰯肉海干

熊足或も丸足

経紐海苔

和清

素麵

名所

珠洲海

高洲山

徳登海山

角崎

宮城山

文毛津

岩瀬渡

宮崎山

徳登海

神社

氣多

○氣多社

羽咋郡ニ有リ

祭神 兩説

大己貴命也 一宮記

天活玉命也

一部兼熊記

御位 貞觀元年正月廿七日從一記

神階記

○越中國四郡

塩藻魚鱒多し五穀よく熟して実よく

繁し漆瓜の山に真珠

砺波 射水 婦負 新門

上巻大く中國四方三日

富山

越中

一之宮

氣多大明神

名産

八講布 琢砂 栗浦 黄蓮 縮硝 垂石

白川系

松波靴

世に地の物と云

鮮

九万足

名所

卯花山

二上山

越海

越山

越の湖

有根海

三橋聖

碓波山

奴峯

卯坂社

本堂

志の山

菱山

多羽浦

神社

氣多

○氣多社 或高瀬 砺浪郡有り祭神 日上

大己貴命也 一宮記

天活玉命也

神名帳 註社記

日延喜八年八月十六日乙卯以越中國氣

多大神預宮幣 按此說則能州氣多

神为天活玉命也 啓。御位 延曆三

年三月三日丁亥氣多神正三位 国史

○越後國 七郡 田圃

山ありあけの地なり 如海を帯く 五穀実のる

道一 素麻多

頸城

三嶋

真治

蒲原

古志

沼津

磐船

上後大上々 國四方六日

新發田	長岡	糸魚川	高田	三日市
与阪	村上	黒川	推谷	村松

越後

一之宮

伊夜日子神社

名産

越後編 上野 松山白綿 當歸 糸山  
 英蓮 糸山 鉛 漆蠟 綱苧 白兔  
 白菰 奥浦池 出雲 八目鰻 糸魚

新奥川

名所

弥彦 宍浦 姫川 黒姫山 湯玉園  
 信別 龜割坂 延暦寺 經水 小倉の時  
 妙香山

神社

伊夜

伊夜彦社

蒲原郡 有リ

祭神

天香山命也

饒速日命子

一宮記

承和十年六月越後國蒲原郡伊夜彦神

預之名神以彼郡每有旱渡致雨救病也 續日本後記

○佐渡國三部

草木繁茂五穀多一牛馬も亦多一

羽衣 雜衣 賀茂 是付諸上之語 遠國と云

中管中上國四方二日半

名産

金 銀 細辛 黄連 弦藻 小鵜

名所

雪島 越菅原 越松原 二鬼池 市勢海

兼持浦 屏風岩

佐渡 一之宮 渡津神社

○渡津社 羽茂郡ニ有リ 祭神

五十猛神 大己貴命兄 一宮記

欽明帝五年十二月越國言於<sub>ニ</sub>龙度島北

御名部之崎岸有<sub>ニ</sub>肅慎人乘<sub>ニ</sub>一船舶而淹

留春夏捕魚充<sub>ニ</sub>食彼嶋人言<sub>ニ</sub>非人也亦謂

鬼魅不敢<sub>ニ</sub>近之嶋東禹武邑人拾<sub>ニ</sub>推子為

欲<sub>ニ</sub>熟喫著灰上炮<sub>ニ</sub>其皮甲化成<sub>ニ</sub>二人飛騰

火<sub>ニ</sub>上一尺餘許<sub>ニ</sub>經時相鬪<sub>ニ</sub>邑人深以為異

取<sub>ニ</sub>置於庭亦如<sub>ニ</sub>前相鬪<sub>ニ</sub>不已有<sub>ニ</sub>人占云是

邑人必為<sub>ニ</sub>魁鬼<sub>ニ</sub>所迷<sub>レ</sub>惑<sub>レ</sub>不久<sub>ニ</sub>如言<sub>ニ</sub>被抄掠<sub>ス</sub>  
 於是<sub>ニ</sub>肅慎<sub>ノ</sub>人移<sub>レ</sub>就<sub>ニ</sub>瀨河浦<sub>ニ</sub>々<sub>ニ</sub>神嚴忌<sub>ノ</sub>人<sub>ノ</sub>不<sub>レ</sub>  
 敢<sub>レ</sub>近<sub>ニ</sub>渴飲<sub>ニ</sub>其水<sub>ニ</sub>死者<sub>ル</sub>且<sub>ニ</sub>半<sub>ニ</sub>日本紀  
 素戔嗚尊<sub>ヒキサテ</sub>帥<sub>ニ</sub>其子<sub>ニ</sub>五十猛<sub>ニ</sub>神<sub>ニ</sub>降<sub>レ</sub>到<sub>ニ</sub>於新羅<sub>ニ</sub>  
 國<sub>ニ</sub>初<sub>ニ</sub>五十猛<sub>ノ</sub>神<sub>ニ</sub>天降<sub>レ</sub>之<sub>ニ</sub>時<sub>ニ</sub>多將<sub>ニ</sub>樹種<sub>ニ</sub>而<sub>レ</sub>下<sub>ス</sub>  
 然<sub>レ</sub>不<sub>レ</sub>殖<sub>ニ</sub>韓地<sub>ニ</sub>盡<sub>レ</sub>以<sub>レ</sub>持<sub>レ</sub>歸<sub>ニ</sub>遂始<sub>ニ</sub>自<sub>ニ</sub>筑紫<sub>ニ</sub>凡<sub>ニ</sub>大<sub>ニ</sub>  
 八洲<sub>ノ</sub>國<sub>ノ</sub>之<sub>ニ</sub>內<sub>ニ</sub>莫<sub>レ</sub>不<sub>レ</sub>播<sub>レ</sub>殖<sub>ニ</sub>而<sub>レ</sub>成<sub>ニ</sub>青山<sub>ニ</sub>焉<sub>ニ</sub>所以<sub>ニ</sub>  
 赫<sub>ニ</sub>五十猛<sub>ノ</sub>命<sub>ニ</sub>為<sub>レ</sub>有<sub>レ</sub>功<sub>ニ</sub>之<sub>ニ</sub>神<sub>ニ</sub>曰<sub>ニ</sub>上<sub>ニ</sub>

系圖上ニ見エタリ

山陰道 八箇國

山陰をあるかの山は狭くむく  
とよみかたりむく成務帝

の海をりふ五畿七道を定む  
國場をりらみよかき

○丹波國 六郡

神代の清時この國海をるありきき

丹波乃まらるゆふに名しせり

素回 船井 多紀 天田 氷上 何麻

上叡中上國四万二日半

菟山

龜山

福知山



命也 日吉樹下神系也

元明帝和銅四年辛亥始出現 改曆雜事

御位 貞觀十四年十一月廿九日從四

位上 國史

三穗津姬 高皇產灵尊子 携幡千々姫命

妹 大己貴命之妻 系山上三見工又

○丹後國 五郡

縮布 變難多し 縮緬をりりて國産と云

和銅六年四月丹波の國乃内五郡と云

と云て置て丹波のふしありて後を

比の意あり

與謝 有休佐 丹後 丹野 德野

中後中上國南山一日半

宮津

田邊

峯山



丹後 一之宮 龍守神社

名産

海産 扇麻 蒲葦 文録貝 沖島  
 阜 久美海松 河守矢根

名所

与謝 天橋立 浦侍 大石  
 倉橋川 足石山 渡浦 建浦 夕日浦 岩澤  
 内浦 懸溪 梶崎 成相山 徳野宮

神社

龍野 奈具  
 与謝 細野

○但馬國 八郡

山莊 粟稗多 温泉あり  
 新本 書院 出石 氣多 城守 二方  
 淡路 七美

上管中上國東西二日

出石

豊岡

但馬

一之宮

出石神社

名産

太布 柳菟 芋 郷 出石箱

洗礪礪 糸筥 小人冬 芥菜 黄蓮

白木 半夏 干蕨 日繩 温石

茜 銀 車牛 新倉山椒

名所

琴弾山 新木山 入佐山 雲白溪

出石里 二見浦

神社

粟鹿 出石

○因幡國七郡

北海免々ろく山岳源一 奥籠海原

多

法美 八上 智頭 邑美 高州 氣多

巨濃 上後中國南小二日

鳥取

因幡

一之宮

宇倍神社

名産

家奥相原

綿

鞆本

本地器

鮎

白干

海素麩

細川梅

名所

因幡川

源智頭持

神社

宇倍

○宇陪社 法美郡三有リ祭神武内宿禰也一宮記

神名帳註云風土記云仁德帝治五十五年春三

月御歳三百六十余歳當國御下向於龜金刃

履殘御隱所不知云々然則以上件年月日時為

乘跡之始乎 神名帳註

七二

○伯耆國 六郡

山深くして地勢一入敷奥のり

手摩乳足摩乳娘稻田姫八頭之蛇欲吞之

故遁入山中于時母遲來姫云母來云々故

号母來國後故為伯耆

河村 久米 八幡 汗入 日野 會見

上叟中國南水二日半

伯耆 一之宮

倭文神社

名産

鐵 熊膽

黑皮革 符子

穀子

雙斗（系子）

名所

尚書云出雲國名所也

神社

倭文

大山

○倭文社

川村郡ニ有リ

祭神一座

下照姬神

大己貴命女

一官記

傳系上ニ見ユ

鎮座年記未考

大山社

伯耆國大山

大智明神者稱徳天皇

時有神託因勅建社

○出雲國十郡

樹林野草繁（綴布）織造

出雲者八束水臣津野命（八雲立）出雲之故

云出雲（風土記）私云八束水津野命素戔嗚尊別名也

意字 能美 爲根 秋鹿 楯縫 出雲 神門

飯石 仁多 大原 上後大上國東西二日半

松江

母里

廣瀬

出雲 一之宮

杵築神社

名産

鐵 紺 漆 松江糖 經 緋 之 貝 十六島海苔

鯽 友徳と云ふ 白厚糖 聖白紙 瓜 子 桑 子 若和布

名所

素戔嗚河原 袖作浦 出雲山 子同園 綿浦

依老浦 梓葉 日津邊 千紙淡 敷川 栴蓮里 雲

里 重垣邑

神社

大社 日嶺 佐陀 手間 土師

○大社 又梓葉庄 出雲國大社素戔嗚尊也 神社今在

社家亦隨焉 雖然以根本推之 則天祖親以日隅宮

所附与干大已貴命者也

○石見國 六郡

海原 魚堀 多

は 剛 島 角 山 あり 岩 崎 山 あり 岩 素 紀 あり

いづこも 嶮 石 の 園 多 有 石 見 玉 と 名 付 る と 云 ふ

鹿足 近摩 那賀 邑智 安波 安波

中 後 中 下 國 南 小 二 日

濱田

津和野

石

一之宮

物部神社

名産

狼腸 獨 黑白基石 白蜜 防風

梶柱 折敷 茨田老 半紙

名所

高角山たかつのかみ 比叡振嶺ひえいふるね 高田山たかたのやま 浮奴うねぬ

池 石見浮いせみうき 妹山いもやま 渡の山わたりのやま 形見山かたみよのやま 打鉄山うちてつやま

八上山やぐし 日暮山ひぐし 高間山たかま 石見野いせのの 石見海いせのうみ

香良浦かうらうら 笠嶋かさじま 南里なんり 湯山ゆやま

神社

物部

○物部社 安濃郡三有リ 祭神一座

宇摩志間知命うましまにちのみこと 饒速日命ニギハヤヒノミコ 子一宮記

○隱岐國 四郡

海藻多し 鮑あひこを名産と云ふ 五穀多し 凡

和名也或云伯耆出雲石見等之沖國也故云々々云々

和文 海部 周喜 隱地 中爰下小國四方二日

隱岐 一之宮 由良姫神社

名産

串鮑くしあひこ 鰯いわし 若和布わかぬい 海馬あいら 灯松あかりまつ

素板 相板 相拍

名所

鼓ヶ嵩 隱岐海 隱岐湊 三嶋 松山

神社 由良 離火 後鳥羽

○由良姫社 智夫郡ニ有リ 祭神 須勢利姫

神 大己貴命 嫡后 一宮記 素戔嗚女 娘 大己

貴命也 系圖 龍ノ如シ

大己貴命 此より前ノ系 圖上ニ見タリ

五十猛神

大屋津姫命

抓津姫神

須勢利姫

大歳神

稻倉魂神

○山陽道 八箇國

右ノ地ヲをテ 少ハ心ニ連レ 成勢 天皇ノ御宇 國縣ヲ定メテ

山陽ノ名始メテ云々

○播磨國 十四郡

風土暖氣 少シテ 色數カ 一 後布多ク 一 後

食 足 不 疎 一 系 穀 物 多 一 穡 甚 一 矣 白 乃 一

針間 昔 景 行 天 皇 二 年 立 播 書 箱 日 太 郎 姫 為

皇后 生 日 本 武 尊 播 磨 名 始 出 干 此 云 々

明石 賀古 賀茂 印南 飾磨 揖保

赤穂 依用 完栗 神崎 多河 美壺

七ノ七五ノ

揮西 揮東

大後大上國四方三日半

姫路

明石

龍野

赤穂

三日月

山崎

林田

播磨

一之宮

伊和

神社

名産

飯鮓

蛸鮓

赤目張

赤穂塩本

綿

葉菜

完栗

完栗狭

清糸

折敷 食籠

北条造

飾磨掲保

蚊帳

東条鞍

宝滑革

書寫竹

津田鞍

荻 俵田より出 年中種あり

野里濁

栗柱

小温鏡

姫

強革

名所

印南聖

牟奈崎

賀古

高砂

聖中法

津田細江

尾上

宝洞

二

見 藤江

赤石

節巻

比治寺

弥高岩

波浪園

意乃溪

奇島

家島津牧

揖保泊

夢絶川

為根

松 三草川



神社

伊和 廣峯 總社 荒田 靜窟  
曾祿 佐与 大荒 大酒 岩屋

○伊和社 完栗郡有祭神大已貴命御魂一宮記

欽明帝師安元年甲申二月十日始現座當社記

欽明帝治廿五年詔伊和恒郷云可祭朕於此地

蓋有上代之幽契哉翌日忽平森中双鶴刷羽侍

立于時恒郷奏上帝營宝基被寄神戸係

定當國一宮而被授正十位峯相記

○廣峯社 飾磨郡廣峯山有祭神三座

○美作國 七郡

四方山岳圍繞して寒強く風がし料木

穀類は夜食多し

和洞六年四月備後國六郡を割て置之

美田 勝田 智西 智東 久承 真島

大庭 上爰中上國東西三日余

津山

勝山

美作 一之宮 中山神社

名産

船碓

高田硯

高田産

延生木

延生木

珠教

名所

久米山

塩山

勝同温泉

塩田

池

うねでの森

次女橋

神社

中山

二宮

勅使宮

大隅宮

白神宮

中山社

皆東郡

国府津山

北一里

三有リ 祭神

大己貴命貞觀十七年四月五日正三位 国史

○二宮

津山西半里餘ニ有リ

祭神傳記

桑川 久米沈良山アリ又二三町東ニ宇那手森アリ

○備前國十一郡

南多海を帯くく山はくわく

暖早一茶本繁茂一五穀実の事

化境ノ先ノ細刀綿布多

小橋和氣 繁梨色久 赤坂 上道

津聖 小足 津高見橋 釜釜

上叢中上国四方三日余

岡山

備前

一之宮

備中 備後

吉備津明神

名産

印部焼 いんべくまき 法 ほり 土 つち の陶器 のたうき を焼 をやく けて

畠山素麩 はたけまそうろ

海月 うみづき

靱 き

白奥 しろおく

川口纒 かわぐちまき

牛窓烏賊 うしまどいけ

下津井蛸 したつじたこ

堅浦白藤 かたうらしろふじ

藤戸海苔 ふらとわかめ

将國油 しやうこくあぶら

名所

唐琴泊 からがまどまり 日浦 ひうら

虫明迫門 むしあかりせき

大濑灘 おほせ灘

牛窓 うしまど

児嶋 こじま

藤戸渡 ふらとわた

神嶋 かみじま

神村山 かみむらやま

○備中國九郡

利刀耘犁 りとうぐら 船治多 ふねぢた 一五穀 いちごく 冥半 めいはん 逆 さか 如 ごと 尻 しり

孝靈 かうりやう 天皇 てんかう 第三子 だいさんし 雅武彦 みやぶひこ 命 のみこと 以功 よこう 封于 ついでに 備之 びのち

中列 なかつら 其後 そのち 胤吉 いんきち 備大臣也 びのちじんなり

賀屋 がや 小田 こゝ 東西 とうせい 都宇 つう 窪屋 くぼや 下道 したみち 淡口 あふぐち

後月 ごげつ 結多 むすぶた 英賀 えが 上下 じやうげ 三郎嶋 さんらうじま 寄嶋 よじま

上叟大上國 じやうそうだいじやうこく 四方 しやうほう 三日半 さんじつはん

足守 廣瀬 岡田 新見 松山

備中

一之宮

吉備津明神

名産

小菊紙

漆 藤骨裏

柳骨理

細

楸 孟山石

名所

細谷川

雄琴里

神島

高倉山

黒上山

松山

吉備中山

岩根山

稻山

花見山

養山

高橋山

高月山

正木山

松原山

白かき山

秋坂山

青木山

岩小橋

稻井

泉井

長井

松井

二万里

豊志里

野山里

長尾村

岩倉村

○備後國 十四郡

田園繁く阡陌長し五穀早く熟して酒麴

多く地味

安奴

深津

神石

奴可

沼隅

葦田

甲奴

三上

上谿

石浜

津洞

惠孫

世羅

三原

上爰中ノ國四方三ヨ余

福山

名産

表

骨柳

逸竹

編笠

靴

備後砂 田沼鮎

名所

鞆浦

室野

叫搖

此泊

當國一之宮備中吉備津明神也

神社

渡

疫隅

○渡社 沿隅郡鞆ニ有リ祭神船玉命

猿田彦神也 一部兼邦説

傳テ云神功皇后三韓御退治発向ノ時此浦

ニテ船楫ヲソロエタマヒ兵食ヲツミツナエ

タマフ渡ノ地ニシテ船ノ鞆ヲモツテ神室

トシタマヒ舟玉神ヲ祠タマヘリ是故ニ此

ヲ鞆ト云フ ○鞆ノ浦哥ニヨリ

新勅撰

鞆乃浦社城のむら乃本宮多々公室や標をたきくかやい 大徳寺説人

○疫隅社 所曰上 号鞆祇園

祭神 三座 山城祇園ニ有シ。祭六月十四日

是社傳備後風土記ニ見ユ今彼國ニ有リ疫隅

社ト云フ云々 風土記ニ見エタリ

○安藝國 八郡

山深く良材多し海邊に陸産物多し五穀豐饒  
沼田 高田 豊田 沙田 斐茂 佐伯 安藝  
高宮 嚴島 那外多し 上後大下國南水三月半

安藝 一之宮 嚴島神社

名産

紙袍 紙袴 紙袴 紙袴 紙袴 紙袴 紙袴 紙袴 紙袴 紙袴

聖蹟浮朝 雷原 魚の子 浦河塩辛 灰焙石花 西粟粉 新漆山葵

名所

嚴島 新田池 佐伯 小万里

○周防國 六郡

佐波 懸手 又毛 大橋 玖賀 都濃 吉敷

上後中上國東西二日

徳山

周防

一之宮

玉祖神社

名産

岩國半紙

摺原

香子紙

漆

名所

岩國山

錦川

錦帯橋

祝詞

竹島

大島門

室積

水室池

竈戸

上の岡

神社

玉祖

高峯

山口

朝倉

長門國六郡

南に海小入山連る魚鱗五穀多し

元ノ名穴門ト云フ日本紀ニ見ユ仲哀天皇

都ニ玉ヘリ穴門豊浦宮トハ是也 猶日本紀ニ委

豊浦 厚狭 英根 大津 河武

見崎

中後中之國東西二日半

萩

府中

清未

長門 一之宮

住吉神社

名産

印籠 紫鏡 赤間圓 萩燒 陶器 緑青

素熟 長所 碁石 櫛 石炭 舟本といふ所の山中より

下関糖 銷 坂生鳥絨 三島大蛤 吉見

川搜糸

名所

豊浦 赤間関 安武松原 面影山 鞠の忌

時の浦 門司関 あすの浦 安古海

神社

住吉 和布 龜山

南海道 六箇國

紀伊國 七郡

南方美海小して水方を幾々ふるふたり

魚もこの海に多し

紀ノ讀也故實也 或云昔秦ノ徐福ト云者

不死ノ藥ヲモトメニ出テ此國ニ來ル里人

奇異也其ト云ニヨリ紀異國ト云フト云々

修都 那賀 名草 海邊 有田 日高

牟婁

上爰小ト國東西三日



和歌山

伊紀

一之宮

日ひの前まへ神社

名産

鴻木綿

本綿

紋羽足袋

田和布

青皮

蜜柑

若山忍冬酒

藤代馬刀

紀川

鯉

根来梳

粉門鞆

若浦海雲

熊野蜜

鯨

緑油

熊野榎木

泥川鵜

玉津島蛤

玉並槍杖

松笠

那智蒸石

大湯庭石

名所

妹脊山

岩代

磐田川

妹背橋

磯向浦

夏公門

千鳥濱

千里濱

若母川

緒拾

山和歌浦

若松原

神島

神菰山

開

見浦

玉門

玉津島

高野

田中安戸

名草

那智

牟婁那

熊野

峯上

青馬

秋津盤

佐野長

紀海

由良門

三穗窟

塩屋王子

神社

紀伊

日ひの前まへ

熊野

粟嶋

七社

王津

丹生

四所

○日前社 伊弉諾宮一七名草部三有リ

祭神 石凝姥神 天兒屋祢命孫

一宮記

○太神入天石窟而閉磐戸天下恆闇時思  
兼神思而白云宜圖造彼神象而奉招搏  
即以石凝姥為冶工採天香山之金以作  
日矛又全剥真名鹿之皮以作天羽翰用  
此奉造之神是即紀伊國所坐日前神也  
日本紀

神託 益人々公を虚けてくその身大地乃  
てく其口風のぞく其思ひてく倦ふぞく  
すれを神の其身を社とく日月光を  
なとん其も流と免つてくべく其もさふ  
和浄石

末社

五十猛神社 素戔嗚尊師其子五十猛  
神降到於新羅國初五十猛神天降之時  
多持持種而下然不殖韓地盡以持歸遂

始<sup>シテ</sup>自<sup>リ</sup>筑<sup>キ</sup>紫<sup>ノ</sup>凡<sup>ソ</sup>大<sup>ニ</sup>八<sup>ノ</sup>洲<sup>ノ</sup>國<sup>ノ</sup>之<sup>ノ</sup>内<sup>ニ</sup>莫<sup>ク</sup>不<sup>レ</sup>播<sup>キ</sup>殖<sup>ス</sup>而  
成<sup>ル</sup>青<sup>ノ</sup>山<sup>ト</sup>焉<sup>ト</sup>所<sup>レ</sup>以<sup>テ</sup>称<sup>ス</sup>五<sup>ノ</sup>十<sup>ノ</sup>猛<sup>ノ</sup>命<sup>ヲ</sup>為<sup>ス</sup>有<sup>ル</sup>功<sup>ノ</sup>之<sup>ノ</sup>神<sup>ト</sup>  
即<sup>チ</sup>紀<sup>ノ</sup>伊<sup>ノ</sup>國<sup>ニ</sup>所<sup>レ</sup>坐<sup>ス</sup>大<sup>ニ</sup>神<sup>ト</sup>是<sup>レ</sup>也<sup>ト</sup> 日本<sup>紀</sup>

○大屋<sup>オホヤ</sup>津<sup>ツ</sup>姫<sup>ツ</sup>社

○抓<sup>ツ</sup>津<sup>ツ</sup>姫<sup>ツ</sup>社

素<sup>ニ</sup>戔<sup>ニ</sup>烏<sup>ニ</sup>尊<sup>ニ</sup>之<sup>ニ</sup>子<sup>ニ</sup>号<sup>ス</sup>云<sup>フ</sup>五<sup>ノ</sup>十<sup>ノ</sup>猛<sup>ノ</sup>命<sup>ト</sup>妹<sup>ト</sup>大<sup>ニ</sup>屋<sup>ノ</sup>津<sup>ノ</sup>姫<sup>ト</sup>  
命<sup>ト</sup>次<sup>ニ</sup>抓<sup>ツ</sup>津<sup>ツ</sup>姫<sup>ツ</sup>命<sup>ト</sup>凡<sup>ソ</sup>三<sup>ノ</sup>神<sup>ト</sup>亦<sup>レ</sup>能<sup>ク</sup>分<sup>ル</sup>布<sup>ス</sup>木<sup>ノ</sup>種<sup>ト</sup>即<sup>チ</sup>  
奉<sup>ル</sup>渡<sup>ル</sup>於<sup>テ</sup>紀<sup>ノ</sup>伊<sup>ノ</sup>國<sup>ニ</sup>也<sup>ト</sup> 曰<sup>ク</sup>上<sup>ニ</sup>

和<sup>ニ</sup>哥<sup>ノ</sup> 浦<sup>ノ</sup> 海<sup>ノ</sup>士<sup>ノ</sup> 田<sup>ノ</sup>齋<sup>ノ</sup> 神<sup>ト</sup> 玉<sup>ノ</sup>津<sup>ノ</sup>島

古今 和<sup>ニ</sup>哥<sup>ノ</sup> 浦<sup>ノ</sup> 海<sup>ノ</sup>士<sup>ノ</sup> 田<sup>ノ</sup>齋<sup>ノ</sup> 神<sup>ト</sup> 玉<sup>ノ</sup>津<sup>ノ</sup>島  
後<sup>ニ</sup>古<sup>ノ</sup>今<sup>ノ</sup> 和<sup>ニ</sup>哥<sup>ノ</sup> 浦<sup>ノ</sup> 海<sup>ノ</sup>士<sup>ノ</sup> 田<sup>ノ</sup>齋<sup>ノ</sup> 神<sup>ト</sup> 玉<sup>ノ</sup>津<sup>ノ</sup>島  
日 和<sup>ニ</sup>哥<sup>ノ</sup> 浦<sup>ノ</sup> 海<sup>ノ</sup>士<sup>ノ</sup> 田<sup>ノ</sup>齋<sup>ノ</sup> 神<sup>ト</sup> 玉<sup>ノ</sup>津<sup>ノ</sup>島  
古今 和<sup>ニ</sup>哥<sup>ノ</sup> 浦<sup>ノ</sup> 海<sup>ノ</sup>士<sup>ノ</sup> 田<sup>ノ</sup>齋<sup>ノ</sup> 神<sup>ト</sup> 玉<sup>ノ</sup>津<sup>ノ</sup>島

○淡<sup>ニ</sup>路<sup>ノ</sup>國<sup>ノ</sup> 四<sup>ノ</sup>郡

伊<sup>ノ</sup>弉<sup>ノ</sup>誥<sup>ノ</sup>伊<sup>ノ</sup>弉<sup>ノ</sup>冉<sup>ノ</sup>二<sup>ノ</sup>神<sup>ト</sup>産<sup>ス</sup>玉<sup>ノ</sup>ノ<sup>ノ</sup>洲<sup>ト</sup>也<sup>ト</sup> 日本<sup>紀</sup>ニ<sup>テ</sup>アリ

津名 三原 六島 繪島 上原 上國 四方 一日

淡路 一之宮 伊弉諾神社

名産 苦竹 煎大餅 武島女郎 鱈の辛螺

名所 大和島 野島 松帆浦 淡路深 淡路

繪島 岩倉

神社 伊弉

八ノ十四

○伊弉諾社 津名郡 三有

履中帝五年秋九月十八日天皇狩于淡

路嶋是日河内飼部從駕執轡先是飼部

之黥皆未差時居島伊弉諾神託祝云不堪

血臭矣因以上之兆云惡飼部等黥之氣

故自是後頓絕以不黥飼部而止之 日本紀

伊弉諾尊神功既畢靈運當遠是以構幽宮

於淡路洲寂然長隱者矣 日本紀

○御位 貞觀元年正月廿七日一品 神階記

○阿波國九郡

三好 麻植 名東 名西 勝浦 那賀  
板野 阿波 吳馬

上及中上國四方二日

德島

名産

材本 鳴門和布 麻尾藻 懸崎石

撫養刺貝 其石よ  
はらふか

名所

鳴門 阿波橋 里登

八ノ十五

阿波

一之宮

大麻彦神社

○大麻彦社 板野郡ニ有リ 祭神

猿田彦命 一宮記

○御位 貞觀九年四月九日正五位上 國史

○讚岐國十一郡

小方海をめぐりて両方山まきり 志陽邊

大内 寒川 二本 三重 山田 神田

阿聖 猪足 多度 那賀 香河

上後大中國東西三日

高松 九龜 多度津

讚岐 一之宮 田村社

名産

石蛤 淡島あり弘法大師封トウあり不 志見  
真鴨 小豆島産海産 平家蟹  
引田海産鴨 志渡浦淡松 料理ふりち也

名所

泊碓 松賀浦 松山 白岩 徳浦  
屏風浦

神社

田村 白鳥 崇徳

○田村社 香川郡ニ有リ 祭神

猿田彦命 一宮記 御位

貞觀九年十月五日從四位下 国史

○崇徳社 松山ニ有リ 祭處

崇徳院御靈

人皇七十五代ノ天子ナリ

鳥羽院第一ノ御子也諱ハ頭仁母ハ中宮藤原

璋子待賢門院ト号ス大納言公實ノ娘元

永二年五月天皇誕生保安四年正月二

讓ヲ受二月即位時二五歳治世十八年

永治元年三月上皇鳥羽殿ニテ落飾鳥羽

法皇ト号ス歳飛九

○伊豫國 十四郡

北方海を抱き南方山を脊より五穀熟し

繁茂せり

宇和 宇摩

新居

周敷

素村

越智

野間

風早

和氣

温泉

久米

浮穴

伊豫

喜多

上爰大中國に方二日

松山	小松	西条
宇和嶋	吉田	新谷
大洲		
今治		

伊 豫 一之宮 大山祇神社

名産

半夏 桐麻 豆腐菽 松山味噌  
 日索麩 大津紫根 宇和漆縹 綾布盆山石  
 日安石 奉書紙 摺原紙 鴻曲鮑  
 来鴻白藤 白峯鶴

名産

神社 大山 湯宮 新田

土佐國 七郡

南宮大津 少之國中山岳多一故  
 鮮枝多く貢人  
 去佐 吾川 高岡 藩多 加治 香良



長巻

中後中上國東西二日

高知

名産

鯉節

硯石

三月三日浴干ふ海産物なり

志良賀山檜

備材木

國中のみよりまき

志良賀山檜

檜皮

帆柱

スダリ

板の條

海羅

藤葛

名所

室戸

土佐

一之宮

都佐神社

都佐社

土佐郡

在り祭神

高鴨大明神

高賀茂大明神味耜託彥根命也一宮記

土佐風土記云土佐郡家西去四里有土

佐高賀茂社其神名爲一言主尊神名帳註

御位貞觀元年正月廿三日從五位上神階記

託宜徳人のいふまじりし所より老れ言可

あつたうぐ一巻成るとなごいふと大悪人といふ

なり神昭も生るとぬきむ人々くふくふく  
 にくめる人々人乃道<sup>ミチ</sup>一<sup>ヒト</sup>く<sup>ハ</sup>て<sup>ナキ</sup>ま<sup>カ</sup>ん<sup>ト</sup>を<sup>シ</sup>全<sup>ク</sup>  
 はい<sup>ハ</sup>た<sup>カ</sup>る<sup>ト</sup>此<sup>ノ</sup>を<sup>シ</sup>ま<sup>カ</sup>ん<sup>ト</sup>を<sup>シ</sup>ま<sup>カ</sup>ん<sup>ト</sup>を<sup>シ</sup>ま<sup>カ</sup>ん<sup>ト</sup>  
 わ<sup>カ</sup>る<sup>ト</sup>ひ<sup>ト</sup>ね<sup>カ</sup>る<sup>ト</sup>海<sup>ノ</sup>一<sup>ノ</sup>和<sup>ノ</sup>後<sup>ノ</sup>決<sup>ス</sup>

○西海道 總云之筑紫也二島壹岐對馬  
 也 筑紫ト云事ハ名恭天皇ノ時異國  
 ヨリ紫草ヲ献シケルニ其船ノ着所ヲ筑  
 紫ト云フ也筑ハ着之義也云々 風土記心

○西海道 九箇國

○筑前國 十五郡

五穀を統器財產物教多あり  
 怡土 志摩 早良 那珂 席田 糟屋  
 宗像 鞍手 嘉麻 總波 疾須 上座  
 下座 津屋 遠賀

上後南水四日

福岡

槐月

筑前 一之宮 筥崎神社

名産

釜あし 松まつ 漆うるし 綿わた

蠟ろう 塩しほ 燒酎やき酎 金寄鮑きよぞう 玉島川たまごがわ

野雁のげん

名所

生松系なまのまつ 稻荷いなづま 博多はくた 千賀浦ちがうら 竈門山かまどやま

香椎かすい 金津寄かんとよ 苧萱園おののぐさ 深川ふかがわ 神湊かみづ

恩川おんがわ 草香江くさかへ 朝倉あさくら 本丸殿ほんまるどの 津之井つみのい

義字浦よしのうら 白川しろがわ 志加島しのかじま 宗徳山むねとくやま 大城山おほしろやま

大野山おほののやま 兄木山あにぎのやま 芦城山あしぎのやま 垂松系たらしのまつ 波奈浦なみのうら

赤肌山あかむねのやま 身浮溪みうきのみや 内浦溪うちうらのみや 芦屋あしや 水笠園みづかさの

多々良溪たたらのみや 五石溪いごののみや 夜泊よど 荒船宮あらいふねのみや 西都さいと

室岡山むろおか 玉島川たまごがわ

神社

宮寄みやよ 宗像むねがた 志賀しが 大己おほの 宇津うづ  
 香椎かすい 宰府さいふ 綱場つなば 壹伎いぎ

○ 筥崎社 那賀郡三在り 祭神三座

神功皇后 應神天皇 武内臣

人皇六十六代醍醐天皇延喜元年六月  
 廿一日依託宣建宮柱於宮崎松原書新羅  
 降伏之旨而置御座下立石柱祈神誓不  
 粉縁起云昔白幡四流赤幡四流降下於  
 其處我松為表故有八幡之号 以上神社考  
後者个  
手早振神代小うへ一若勝の松と云ふことあり  
新撰  
 宗像社 宗像郡ニ在リ 祭神一座  
 田心姫命 素戔嗚鳥子

○筑後國十郡

五穀ミヤコ魚鱗イサノ多  
 御原ミコノ 御井ミヅ 生葉ナハ又 竹野タケノ 山本ヤマノ 三備ミツボ  
 上妻ウヘウメ 下妻シモウメ 山門ヤマカド 三池ミヅウミ

上後大中國南小五日

久留米 柳河 三池

後筑 一之宮 高良玉垂神社  
高良玉垂神社の

名産

紅花 三池加多 三條鯉 塩鴨

菘 海草

名所

高良山 千歳川 石垣里 琴引宮  
一疾門 瀧瀬山 足代山 金目川 三池

○高良社 三井郡ニ在リ 祭神

武内宿祢。人皇四十代天武帝白鳳二  
二年二月八日高良神託云譽田天皇御  
宇為晨昏武畧之健將末世時古敵新羅  
禍害發哉乎宮崎松原建新宮書新羅降

○豊前國八郡

伏之字置吾座下則自然降伏云々件新宮  
以延長元年迁御畢神名帳註○御位  
貞觀十一年三月廿二日正二位 國史  
○豊前國八郡  
綿本多 妻手 速 又教 鏡之  
系都 田河 企救 仲津 筑城 上毛  
下毛 宇佐

上卷大伴國南水田目

小倉 中津

豐前 一之宮 宇佐宮

名産 小倉酒 小倉米 硯石 水精 陶器

彦山 茗目 湯嶽硫黄

名所 鏡山 四極山 比古宮 笠縫傳 企救

侯門司園 吹出溪 宇溪 甚表傳 美池

柳浦 宇佐宮 清水寺

神社 宇佐八幡同 賀春 西寒

○宇佐宮 宇佐郡ニ在リ 祭神八幡三所

○三所者八幡比咩神大帶姫也豐前國宇

佐郡菱形山廣幡八幡大神坐郡家東馬

城峰頂後人皇四十代聖武御宇神龜四

年就此山奉造神宮二十二社註式

○欽明天皇三十一年冬肥後國菱形池邊

民家見甫三歲神託云我是人皇第十六

代譽田八幡麻呂也諸州垂跡于神明今

又顯于此其後差勅使移而鎮坐於豐前

國字佐宮 神社考

○傳教大師弘仁五年春詣宇佐八幡神宮講妙法華講竟神託云不受法味久歷歲華今聽微言何以報德我有法衣願表觀達乃啓拜殿推出紫衣二領神宮巫祝各相謂云我等未嘗見如斯靈感也敕書一

○豐後國 八郡

此國素麻本綿多  
 日田 球珠 直入 大野 海部 大方  
 速見 國濟 上後中上國三方云日

未林	日出	府内	佐伯
	岡	白杵	杵築

後豐

一之宮

西寒多神社

名産

紋本綿（世に名後） 其石（白雲の石） 白雲（白雲の石） 燐硝（燐硝）

水晶 錫 鉛 黒緝布 海羅 青皮

陳皮 麻地（麻地） 鷹犬 川壺 榎

粟魚（粟魚） 鮎（鮎） 切履半 火抄

名物（名物） 等軸 宇智山（宇智山） 佐伯梅（佐伯梅）

中津大竹 燒嵩（燒嵩） 煙州（煙州） 菅（菅）

名所

笠懸（笠懸） 本綿（本綿） 姫（姫） 三保浦（三保浦）

高崎（高崎） 宝積（宝積） 小竹（小竹）

○西寒多社 大方郡ニ在リ 祭神三座

神功皇后 應神天皇 武内大臣

○一名柞原大明神垂跡同宮崎 神名帳註

○貞觀十一年三月廿二日無位西寒多神

從五位下 國史

○神託 其公此ありて居りて其言あり

時を炎の中に居りて其言ありて其言あり

く其言ありて其言ありて其言あり

天の月ありて其言ありて其言あり

知海



○肥前國十一郡

土厚く種百倍をまはるる多し

壬上八火前上書タリ其故ハ景行帝ノ千八年五月ニ

葦北ヨリ火国ニ到日没ニテ夜闇カリ力ハ船ヲ着テ岸

ヲ知ズ其時遙ニ火ノ光見エケレバ此ニライテ着岸ヲ得タ

リ是人間ノ火ニアツテ上量テ其国ヲ火前上云也云々

基津 養父 三根 神寄 小城府 佐賀

松浦 杵嶋 藤津 葛本 高来

上後中上國南小立日

五嶋	平戸	大村	嶋原
佐賀	鹿嶋	小城	唐津
蓮池			

肥前 一之宮 淀姫神社

名産

陶器 唐漆 唐刺子袋

唐刺子袋 唐漆 唐刺子袋

唐刺子袋 唐漆 唐刺子袋

唐刺子袋 唐漆 唐刺子袋

唐刺子袋 唐漆 唐刺子袋

五島錫 鯉節 若和布 松海苔 寺井海

草 二神隼 串籠 平太の 土呂 忍衣表

佐賀の 後炮

名所

比礼振山 玉清川 鏡神 松浦海川

心の園 七瀬湊 鞆の港 津調園 有明津

奥板原 鳴原

神社 淀姫 松浦 鏡宮 櫛田 板櫃

○ 淀姫社 佐賀郡ニ在リ 川上大明神ト号ス

○ 長崎ハ五港ノ一ニシテ 岡陵環繞一大  
灣ヲナス長サニ里許水深クシテ碇  
泊ニ宜シ寛永年間初テ支那阿  
蘭陀ノ互市場ヲ此地ニ定メ外國  
船他港ニ入ルコトヲ禁ス后諸國  
ト交結ニ及ンテ此禁ヲ解ク日  
本此港ヲ以テ初トセリ

肥後國十四郡

良材柴薪五穀綿帛魚鱈多

玉名 山麻 山本 桑池 阿蘇 合志

任摩 球磨 飽田 益城 宇土 天草

荻北 八代 中後大中國口方五日

熊本城 新田 宇土 球ヶ舎

肥後 一之宮 阿蘇神社

名産

熊幸煙管 革籠 陶器 八代漆

八代蜜柑 熊子籠 切鯨 相良陶 綾本

綿鳥 靈符板 沖免革 腰赤鯛 長洲

桑池苔 百足苔 天草砥 野太根 志波

白岩石 火川火打石

名所

多波礼徳 鞆瀨 野坂浦 松浦 水

宇土小島 腰赤の巻 裸島 八代池 阿

蘇沛池 赤幡山 万里杜 龍尾川 松風

関 墨摺門 硯門 洞浦 風流橋

阿蘇山 鞍ヶ嶽 八方ヶ嶽 母子嶽  
 倉ヶ嶽 三国山

○影行天皇御宇十八年六月十六日到  
 阿蘇國也其國郊原曠遠不見人居天皇  
 云是國有人乎時有二神云阿蘇都彥阿  
 蘇都媛忽化人以遊詣之云吾二人在何  
 無人耶故号其國云阿蘇 日本紀

ハノ三十七

○日向國 五郡

是國東ニ望テ直ニ日ノ出ル方ニ向フユヘ

日向ト云也

臼杵 兒湯 那珂 宮寄 諸縣

中後中國四方三日

飽肥 高鍋 佐土原 延岡

日向 一之宮 都農神社

名産

藤枕 材木 松板 松角 荅竹

黄檗 五倍子 推茸

石所

憶ヶ原 速日峯 高千穂宮 神

踏伴 櫻橋 秀島

神社

都農

高千穂

○都農社 兒湯郡ニ在リ 祭神

大己貴命 一宮記

○大隅國 八郡

米穀多く 材石も又多あり 魚鱈 帛

和銅元年日向国ノ内四郡ヲ分テ是ヲ置ケリ本郡ノ名也云々

大隅 美州 素原 福祿府 始羅 肝属 駒碓 熊毛 多祿島 中後中上國四方二日

名産

小鳥銃 多祿島 松板

名所

氣色村

夕暮園

奈毛本杜

風杜

後瀬山 青葉山

大隅 一之宮 鹿兒島神社

鹿兒嶋社 素原郡ニ在リ

正八幡ト号ス 祭神 二説

彦火々出見尊 一説

大隅国正八幡火々出見尊也興宇佐八

幡不同 神書鈔

大隅宮神功皇后手大御前豊玉姫南面

應神帝若宮仁德帝西向武内臣也 兼右説

欽明天皇五年甲子頭座 社記

○神託 益人が公み汝あまは万物皆ま

がみ益人が公み汝あまは万物皆ま

あまは万物皆ま

地より神明なるがゆへ日上

○薩摩國十四郡

五穀魚鱗豊なり

出水 高城 薩摩 日置 伊佐 阿多

河辺 親娃 結黎 侯山 指宿 龜崎

奥小嶋 麻見崎

中後中上國四方二日

鹿見嶋

八ノ四ノ十

名産

薩摩人參 萩本 樟腦 硫黄 紅花

紫根 蕪蕨 蘭 桜桐皮 荑揚 松葉

赤芋 芋 大各竹 日笋 上布

芭蕉布 椰 又 麻皮 牧野

冷盛酒 米 紙

名所

奥小嶋 硫黄崎 白崎 三保不島

幸の崎 薩摩迫門

薩摩

一之宮

和多都美神社

○牧聞社 綿積上毛類姓郡ニ在リ 祭神  
猿田彦命 一宮記

貞觀十六年七月二日大宰府言薩摩、同  
從四位上、開聞神山、項有火自燒烟薰滿、  
天灰沙如雨、震動之、声聞百余里、近社百  
姓震恐、失情求著神龜封戶及汚穢神社  
仍成此崇  
執奉封二千戶 三代實錄

八ノ四十一

○壹岐國二郡

陸奥出羽佐波 隱波對馬以上四國二島

龜野

佐波 石田 卜後皆及移之四方一日

名産

本綿 鯨日鯨 鱒 雲 鹿 海桑

に考ふる

名所

雪降 海松岡浦 引野 風車



呼子松原 天原 夜海

壹 一之宮 天手長男神社

○天手長男社 石田郡ニ在リ 祭神

天思兼神一男也一宮記

○對馬國二郡 田圃六百二十丁

日本西水の植之稻鮮へは十八里又穀粟系

了ふく蕎麥稗多

上縣 下縣 下後小下圃也

八ノ四十二

府中

名産 人参 稻 鮮産 推茸 蕎麥 昆布

對馬斗

名所 浅茅山 紅葉山 神振山 石島

村岸 香の山 對馬渡 竹後浦

對馬 一之宮 和多都美神社

○和多都美社 上縣郡ニ在リ 祭神

八幡宮也 一宮記

御位 貞觀十二年三月五日丁巳正五位下 國史

○神託 益人<sup>マスヒト</sup>が夢<sup>ナラ</sup>見<sup>ミ</sup>ぬあ<sup>ハ</sup>らん<sup>ニ</sup>て<sup>シ</sup>て<sup>ハ</sup>お<sup>ハ</sup>り  
なる事<sup>コト</sup>なり<sup>カ</sup>く<sup>ハ</sup>こ<sup>ト</sup>事<sup>コト</sup>なり<sup>ク</sup>なり<sup>ク</sup>なり<sup>ク</sup>  
ぬ<sup>ク</sup>眼<sup>ウラ</sup>なく<sup>テ</sup>ま<sup>ハ</sup>れ<sup>日</sup>の<sup>ノ</sup>け<sup>き</sup>ふ<sup>花</sup>の<sup>心</sup>  
る<sup>ウ</sup>て<sup>く</sup>あ<sup>ん</sup>お<sup>は</sup>り<sup>と</sup>ひ<sup>う</sup>く<sup>と</sup>ら<sup>と</sup>り<sup>よ</sup>  
ま<sup>り</sup>ぬ<sup>と</sup>吾<sup>ガ</sup>こ<sup>の</sup>ま<sup>ら</sup>ば<sup>日</sup>上

已上

日本名所栞草下終

明治十八年十月一日御届

同

十二月出版

定價金三十錢

編輯并出版人

愛知縣平民

三輪淺次郎

名古屋區鏡砲町  
三十七番地

同

美濃屋清七

發兌人

東京書林

江島喜兵衛

日本橋本石町二丁目

65
2
226

